

悠久の森の中のひととき

都城盆地博覧会（ボンパク）

都城の魅力を再発見してもらおうと始まったボンパクが、10月13日から11月4日まで市内各所で行われました。11月3日にはどんぐり図書館（丸谷町）で「焚き火で煎るコーヒ―とバウムクーヘンを森の中で」が開催され県内外から15人が参加。参加者らは2人1組になり、バウムクーヘンの生地を竹に巻き付けてはたき火で焼く行程を繰り返しながら、自然を満喫していました。篠田愛さん（大分市）は「完成するころにはパートナーとの息もぴったり。お土産もできました」と話していました。



ロビーに響く癒やしの音色

ロビーコンサート300回記念ウィーク

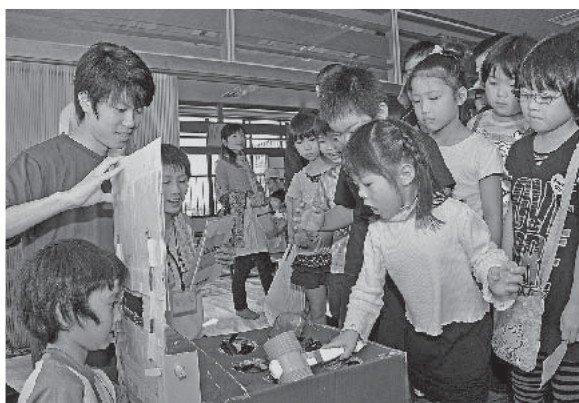
平成6年に始まったロビーコンサートが開催300回を迎えるのを記念して、10月15日から19日まで、市役所1階ロビーで記念コンサートが開催されました。期間中は、オカリナやコーラスなどが披露され、多くのロビーファンが来庁。300回記念となる16日には長峯市長が、主催者のおたまじゃくしの会へ感謝状と花束を贈り祝福しました。会長の宮脇葉子さん（上町）は「300回も続けられたのは、出演者はもちろん、聴きに来てくださる皆さんのお陰です」と感謝していました。



楽しさいっぱい！ 笑顔いっぱい！

子どもフェスティバル

市内の小学5・6年生が中心となって企画運営する子どもフェスティバルが10月21日、コミュニティセンターで開催されました。毎年人気のお化け屋敷のほか、ミニゲームやキャンドル作り体験コーナーなど、趣向を凝らしたプログラムはいずれも大盛況で、長い行列ができていました。もぐらたたきコーナーで説明や進行などを担当した鳥丸朋也君（沖水小5年）は「研修会に参加してやってみたいと思った。たくさんの人に楽しんでもらえてうれしい」と充実した表情を浮かべていました。



遊びや体験を通して環境を学ぶ

都城環境まつり

10月27日、リサイクルプラザで環境まつりが開催されました。会場には環境にまつわるさまざまなコーナーを設置。太陽電池を使ったソーラーバッチ作りなどの親子で楽しめる体験教室のほか、緑化を推進する団体が苗木の無料配布などを行いました。また、リサイクル品の販売コーナーでは、きれいに再生された自転車などに申し込みが殺到していました。河川浄化液作りを体験した瀬之口和子さん（上水流町）は「生ごみの臭いが気になっていたので使ってみた」と関心を寄せていました。



よかもん・うまかもん大集合 地場産業まつり

10月27日・28日、都城圏地域場産業振興センターで、地場産品の消費拡大や地場産業の活性化を目指す地場産業まつりが開催されました。県内外から75店舗が出店。地元特産品のお茶や畜産加工品などが展示即売されたほか、吹奏楽の演奏や郷土芸能が披露され、呼び込みの声が響き渡る会場では、訪れた人たちが目当ての品々を買い求めていました。家族と訪れていた中山涼子さん(山田町中霧島)は「いろいろな地域の食べ物を楽しめるので毎回楽しみです」とまつりを堪能していました。



笑顔と歓声があふれた御神幸行列 山ノ口弥五郎どん祭り

山ノ口弥五郎どん祭りが11月3日、的野正八幡宮周辺で開催されました。朱面を付けた身の丈4尺の弥五郎どんが、獅子舞やみこしなどを従え浜殿下り。約200人が、600名の参道をゆつくりと練り歩きました。弥五郎どんに触れると、1年間病気をしないといわれから、見物客も行列に加わり、参道はたくさんの人出でにぎわいました。浜殿下りと郷土芸能に参加した天神原葵君(富吉小6年)は「見物する人が多くてびっくりしたけれども、緊張せずにできた」と息を弾ませていました。



盆地の空で風に乗る 南九州ハンググライダー大会

鳥のように大空を舞い、見る人を楽しませてくれる南九州ハンググライダー大会が11月4日、金御岳周辺で行われました。県内外から愛好者ら27人が出場。選手らは離陸台を飛び立ち、着陸場でもあるサシバ広場の的にどれだけ正確にストリーマーと呼ばれる砂袋を落とせるかを競い合いました。また、地元住民らによる地場産品の販売やぜんざいの振る舞いなども行われ、大会を盛り上げました。大橋仙文さん(奈良県)は「全国的にみても着陸場が最高です」と金御岳の魅力話を話していました。



安くて新鮮！市民の台所にぎわう 市場まつり

11月4日、普段入ることのない公設地方卸売市場で市場まつりが開催されました。新鮮な魚介類や野菜などが市価より安く買えるとあって、早朝から約6、500人が来場。鮮魚コーナーでは、マグロ解体の実演や刺し身の振る舞いに長蛇の列ができていました。また、競りの模擬披露や大鍋の試食なども行われ多くの人出でにぎわいました。毎年訪れている多田恭代さん(一万城町)は「安くて新鮮なものばかり。試食もできて楽しいですね」と買い物袋を重たそうに抱えていました。





安全・安心なまちづくり関係功労者
内閣総理大臣表彰を受けた

菖蒲原防犯協会

中馬 勝義 さん（一番左）

かみみやた ただし
上宮田 瑞 さん（右から
3番目）

王原 弘子 さん（右から
2番目）

外山 節子 さん（一番右）

安 全・安心なまちづくりをス
ローガンに、地域で防犯対
策に取り組む菖蒲原防犯協会（中
馬勝義協会長、会員24人）。今回、
犯罪に強い社会実現のため、地域
で防犯活動の推進に功績のあった
個人・団体を顕彰する「安全・安
心なまちづくり関係功労者内閣総
理大臣表彰」を受けました。

同表彰の受賞は、県内で初めて。
その快挙に「先輩たちが始めた取
り組みを、地域みんなで引き継い
できたことが評価されたのでは」
と中馬協会長は語ります。

昭和43年に設立された同協会。
災害時の避難誘導のほか、非行や
犯罪から子どもたちを守ろうと始



めた自発的な取り組みがきっかけ
となって、地域みんなで取り組む
防犯活動へと発展しました。現在
は、登下校時の見守りや毎月定例
で行う夜間のパトロールに加えて、
協会の女性部員8人が組織した
「アイリス」が高齢者宅の訪問な
ども行っています。

「時代の変化で取り組む内容も
変わりました。女性ならではのこ
まやかな視点で、子どもたちの見
守りに加えて、高齢者を狙った詐
欺の被害者を地域から出さないよ
う、啓発や金融機関などのATM
の見回りにも力を入れています」
と話すアイリスの王原さん。

また、同協会の防犯活動には、
子どもたちも参加しています。夏
休みには小学4年生以上の子ども
たちが高齢者宅を訪問したり、清
掃活動などのボランティア体験を
通して、地域の大人たちと交流を
深めたりしながら、防犯の大切さ
とその意義を学んでいます。

今後の取り組みについて「防犯
活動には、これで終わりというこ
とはありません。一つ解決すると、
次の問題に気付きます。大切な
は、継続すること。これからも地
域みんなで安全・安心なまちづく
りの取り組みを続けていきます」
と決意を話していました。

環霧島探訪

— かんきりしまたんぼう —

Vol.8

今月は、滝の駅「せきのお」の店長を務める都城市の藤澤正さんを紹介します。

◎問い合わせ 経営戦略課 ☎23-2115



日本の滝百選にも選ばれている関之尾滝。その入口にある滝の駅「せきのお」で観光客の皆さんを出迎えているのが、

催されました。初回のコンテストは雨の中での開催。「それでも傘を差して来てくださったのがうれしかった」と振り返ります。
最近では宮崎、鹿児島の両県を巻き込んだイベントを試みる中で「大きな物事を進めるにはみんなの協力や連携が大切」と実感しています。

店長の藤澤正さんです。
旅行会社勤務していたころ、添乗員として世界中を巡っていた藤澤さん。その知識と経験を買われ、5年前に滝の駅「せきのお」の店長を務めることになりました。この間、これまで多くの観光客と接し、さまざまな人との触れ合いに魅力を感じています。

「人と同じようなことをしていてもだめ」と、関之尾滝を盛り上げるために、数々の特徴的なイベントを手掛ける藤澤さん。中でも郷土料理の「がね」に着目したがねコンテストは、作る側も食べる側も楽しめるイベントとして人気を博していて、これまでに3回開

「関之尾滝の魅力は形の美しさ。都城市にお越しの際は、関之尾滝と滝の駅『せきのお』にぜひ立ち寄りください」とPRに余念がない藤澤さん。地域に対しても、「観光を通じたまちづくりになれば」と滝のように力強いまちおこしへの思いは膨らみ続けます。



滝の駅「せきのお」
☎37-3405

※環霧島圏域のイベント情報を、市ホームページで紹介しています



盆地生まれの

元気ないただきます

手軽にできる野菜料理！

しらゆきあ

ホウレン草の白雪和え

※1人分98kcal、塩分0.8g



- 材料(4人分)
ホウレン草…300g リンゴ…中1/2個 大根…200g
【合わせ酢】
酢…大さじ3 砂糖…大さじ2 塩…小さじ1/3
うす口醤油…大さじ1/2 白ごま…大さじ1

- 下準備 ホウレン草…ゆがいて固く絞り、1cmの長さに切る
リンゴ…皮をむき、おろす
大根…おろして、水分を切る

- 作り方 ①ボールに合わせ酢の材料を入れて混ぜ合せ、ゆがいたホウレン草を入れ、ざっくりと混ぜる
②①に、リンゴと大根を加え、最後に白ごまを散らす



ホ

ウレン草には、ビタミンAやビタミンB群類、ビタミンC、鉄分、葉酸など、血液を作るために必要な成分が多く含まれ、体力づくりには欠かせない緑黄色野菜です。

ワン!ポイント

ビタミンAや鉄分の吸収を高めるためには、豚肉や牛肉などと炒めたり、油を使ったりするのがお薦めです。

◎問い合わせ

健康課 ☎23-2765